

Title	詞林 第36号 表紙/目次
Author(s)	
Citation	詞林. 2004, 36
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67522
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

詞 林

SHIRIN VOL.36 (2004年10月)

第三十六号

泣く昔男
―『伊勢物語』の物語構成―
……………木下 美佳 (1)

玄宗・楊貴妃・安祿山と桐壺帝・藤壺・光源氏の寓意
―続古事談から見る源氏物語―
……………荒木 浩 (11)

『大鏡』における「魂」観の再検討
……………石原のり子 (30)

『春日社司祐範記』連歌年表
……………川崎佐知子 (42)

第三十四号目次 (二〇〇三年十月)

『落窪物語』・現実への志向
—衣の記述を視座として— 鈴木麻里子

光源氏のへ琴の琴
—第一部における— 和田 美香

随心院藏『峯殿詠哥集』考 海野 圭介

"Fence" as metaphor in Heian literature. Part 2
(比喩としての「垣」(下)) Teresa Martinez Fernandez

第三十五号目次 (二〇〇四年四月)

〈伊井春樹教授御退官記念特集号〉

三十五号の発刊に寄せて 伊井 春樹

〈山がつめく光源氏
—須磨流離の姿— 岡田ひろみ

玉鬘の裳着
—養女となる次第— 倉田 実

柏木不在の論理
—柏木・弁少将の機能と夕霧・弁少将の対峙の構造— 中井 賢一

伝国冬本源氏物語の世界
—藤裏葉巻をめぐる— 越野 優子

『石清水物語』の後日談に示される
「不義の子」の可能性とその意義 井 真弓

三卷本『枕草子』の和歌
—定子と清少納言の交流を中心に— 佐藤 雅代

定家の百首歌における「有明」 細川知佐子
—四季歌を中心に—